



早坂憲明議員

住んで良しという町づくりの源は何か

回答 身の丈に合った行財政運営と少しの余裕

早坂憲明議員 日本創生会議による2040年問題、20才から39才の女性人口推計による、女性数減少の影響を受けて、消滅する自治体の中に、わが町も含まれている。

た、少子化の時代を迎えることになるが、住んで良しという、町の姿を目指す源は、何か。

町長 行財政の力量という面でも、人口減少により、かつての人口が8000人台や7000人台と同じようなやり方は不可能であり、現在、公共施設の統廃合をはじめ、事務事業の見直しをおこなって、無駄の削減、マンネリ化の打開に努めている。取り組みは道半ばであり、目指す目標は先にあるとい



金山小学校入学式 (4月7日)

うのが実感である。その目指す先に、多くの町民から住んで良しと感じてもらえると思う町の姿があると思う。

早坂議員 人間にとって命が始まる場所であり、社会の最小集団であり、生きる力となり、心が一番安らぐ環境、人間にとって最も重要である家庭の現場。そして医療の現場、教育の現場、介護の現場、観光の現場、農業の現場、集落の現場、また政治の現場、経済の現場など、すべての現場が乱れを起こして、迷いが生じている。住んで良しという姿には、ほど遠い姿である。

町長 日々の生活に、喜びを感じてもらおう、これが第一である。様々な行政サービス、インフラ整備、事業をおこなって、できるだけ不便を解消し、少しでも負担感を減少させて、豊かな生活を享受してほしい。



事業見直しプロジェクト会議

現在の人口規模、財政規模に応じた町政運営を軌道に乗せるために、あらゆる面から見直しをおこなって、持続可能な町づくりを進めていく。現在の町の転換期を乗り越えるためにも、数年単位というよりは、中長期的な展望の中で、少しずつ課題をクリアして、活力を取り戻し、町民の方から豊かさを感じてもらえる町づくりを目指していく必要がある。

常任委員会の活動報告

町有地を活用した若者の定住策を

総務文教常任委員会

問 若者が定住できるように、町有地を活用した住宅は考えられないか。

答 ソーシャルネットワーク事業で民間の事業者の話を聴き、「住むところの確保」が本当に重要であると感じている。現在、民間事業者から金山木材跡地を活用し、今風のアパートを建てられないかという提案がある。

問 スクールバスは、学校で降りて学校から乗るのが一番安全と思うがどう考えているか。

答 教育委員会と学校側としては、学校の前から乗車するのが一番良いと考えている。しかし、道路や駐車場が狭いなど多くの課題があり、どうしても安全に学校で乗り降りできるのか検討している。

問 小学校のプールは、以前屋根をかけて改修する計画があったが、現在の施設改修についてどう考えているのか。



金山木材跡地

答 プールはかなり老朽化し、プールの周りが隆起して児童がケガをする恐れがあるため、プール槽も含めて全体的に改修を検討している。

問 町では現在、県、警察署、消防署と共同で災害訓練を行っているが、自衛隊も含めた訓練が必要と考えるか。

答 防災訓練に自衛隊が、参加している市町村もあるので検討する。

～産業厚生常任委員会～

問 産業まつりは、なぜ神室なのか。

答 以前もグリーンバレー神室で開催したことがある。今後利用を活性化させるべく必要があるため、総合的に考えた。今後、グリーンバレーでの産業まつりを定着させていき、色んなイベントを広げることで利用拡大を図りたい。

問 羽場団地の入口に車が駐車しているが支障があるのでは。

答 これまでも路上駐車をやめてくださいという周知を行ってきたが、個別に声をかけていきながら適切な指導をしていく。

問 商工活性化事業の採択要件は。

答 国や県と同様の支援事業が有るが、国や県の支援だとハードルが高いため採択にならなかった。それよりは町はハードルを下げていく。要望も多く補正をした。



産業まつり靴飛ばし大会

問 人間ドック健診の中、高齢層が高齢者のみに変わったが、負担軽減できないか。

答 昨年からは男性のドック健診を健診センターに移行したが、移動が大変だとの意見があったため、高齢者の方が受けやすい体制づくりのため、診療所での実施を考えた。若い年代の人には、健診センターで特定保健指導を受ける率も上がっている。若い人の健康づくりのためにこのような形とした。

9月8日午後開催され、所管の補正予算などの議案、所管事務に対する質疑を行った。主なものは次のとおり。